

ミコアイサ（カモ科） 全長 42 センチ

今年3月に紹介したミコアイサがですが、7月2日大浦沼で1羽のオスが見つかった。

どうしたのでしょうか。もしや怪我でもしているのではないかと、じっくりと観察を続けた。特に弱った様子には見えません。

暫く待っていると、バタバタと羽ばたきを繰り返した。やはり右の羽が殆ど欠けてしまっているのではないか。これでは飛び立つことは出来ません。



雨の中、たった1羽で寂しそうに浮かんでいた。

3月までは他の仲間と共に元気に飛来してきたが、ここで天敵にでも襲われたのでしょうか。よほどの怪我を負っているが、何とか生き延びたようです。仲間たちが次々と北に渡ってしまい、誰もいなくなっていました。

しかし、この沼は魚も豊富にいることから、餌には困らないようです。暫く様子を見るしかありません。



右側の羽が殆ど欠けているので、前の写真と比べると違いが分かります。



左の翼と同じ模様が見えるはずだったが。

11月下旬には、コガモやオナガガモ、マガモなどが再び飛来してきます。
それまで何とか生き延びて、仲間のミコアイサと再会し元気になってもらいたい。



痛々しいです。



これでは飛ぶことは出来ませんが、餌はしっかりと食べているようです。